



# できる時に できることを できるだけ

染織作家  
木山 千裕



作家活動をはじめた独身時代はアトリエを借りて染めも織りも思いのままにしていたのですが、結婚して子どもが生まれてからはアトリエを引き上げ自宅での制作のスタイルになり、染めることが難しくなりました。

いつかはまたアトリエを手に入れたらいいと思っていましたが、まず、今は子育てと制作を両立させるために自宅で制作するのが一番効率が良いのです。染め場がなくなった代わりに、電動ドラムカード機を導入しました。できることをできるようにやっていく日々です。

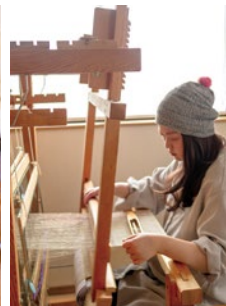
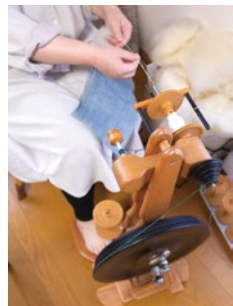
そんな私が普段一番よく使う素材は染色メリノ羊毛のトップです。そこへ羊の原毛や紡績糸も組み合わせて使っています。

染色羊毛は、100色ほどに染め分けられたものの色見本を参考にしながら、ネットで注文することができ、最も手に入れやすい素材のひとつです。10gから購入でき、注文先のお店候補もいくつかあり、それぞれ取り扱う色や羊毛の種類が異なるので作りたいものに合わせて注文先を選びます。染色羊毛は私にとって絵の具や色鉛筆と同じです。素材も均質で使用感にムラがありません。

それとは対照的に、羊の原毛は個性豊か。自分の手元に来てくれた毛を眺めながら、どんなものを作ろうかと考える時間は大きな楽しみです。電動ドラムカード機を導入したことで原毛の大量のカードかけも難なくできるようになったので、道具のおかげで作るものが変わったという実感もあります。

自分で自由に染められれば表現の幅は広がりますが、今は染められないという制約をどう作品に転換するかということテーマに制作している。自宅で染めずに染色羊毛と羊の原毛を組み合わせて色を得ていきます。電動ドラムカード機で毛をミックスして、自分だけの色・質感の糸を作ります。均質に混ぜるだけでなく、縞のようになるところどころにだけ色を入れて紡いだり、わざとムラになるようにミックスしたりします。また、異なる質感の羊毛をミックスすることで弾力やハリといった触り心地に関する部分も作り込むことができます。

子育て、自分自身の病気療養、家事その他諸々、生活環境や人生観が変化する数年間でもあり、自分の作品制作に対する考え方も随分と変わったように感じます。今までは理想の作品に向かって必要な材料と環境を揃え、ゴールに向かって進めていく感じでした。しかし今は、まず限られた環境と時間、素材や道具があつて、そこから何ができるか探っていくという感じです。できる時に、できることを、できるだけ。作ることを諦めない。手仕事というのは粘り強いのです。



■木山千裕プロフィール  
1986年生まれ  
京都市立銅駝美術工芸高校日本画科卒業  
沖縄県立芸術大学美術工芸学部工芸専攻染織卒業  
同大学大学院造形芸術専攻科生活造形専攻工芸専修織研究室修了

kuuge(クウゲ)というブランド名で2011年より京都市内を拠点に作家活動を続ける。現在4歳の子どもの子育て中。  
沖縄の芸大にて学んだ工芸の考え方を基に、生活の中で使える物を作りたいと思い、羊毛を素材の軸として日々手紡ぎ手織りの作品を制作している。

■展覧会情報  
2024年11月2日(土)~11月17日(日)  
北白川ちせ  
〒606-8276 京都府京都市左京区北白川別当町28  
11時~17時 月・火曜日定休  
075-746-5331(北白川ちせ)

■Instagram  
Instagram : @kuuge



サンプル